

有力FX企業16社の月間データランキング-2017年11月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2017年1月より、調査対象企業が1社減少したため2016年12月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2017年12月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2017年11月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年11月末の有力FX企業15社^{*1}の預かり残高の合計は、9,015億円であった。11月は本調査対象企業15社中10社で預かり残高が増加し、前月比93億円増(1.04%増)となった。

◆ 企業単体集計の2017年11月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年11月末の有力FX企業16社^{*1}の口座数の合計は、452万口座であった。11月は前月比3.1万口座増(0.70%増)となり、本調査対象企業16社中15社(その他企業2社含む)で口座数が増加した。

◆ 2017年11月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2017年11月の月間取引高は、有力FX企業12社^{*1}の合計で220兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。11月は前月比12.9兆円増(6.27%増)となった。本調査対象企業12社中11社(その他企業3社含む)で取引高が増加した。

(*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★**ご注意:**本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

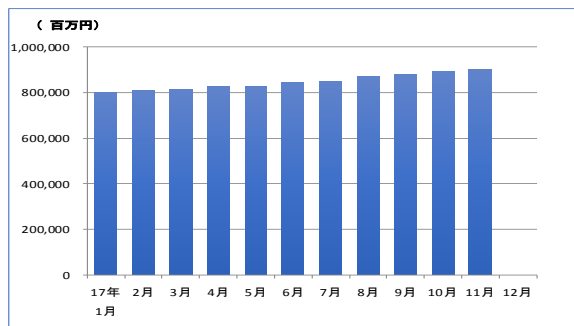
プレスリリース



【預かり残高】

●企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,435億円、第2位の外為どっとコムは1,167億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(2,015億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,609億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はヒロセ通商(5.27%増)。次いでSBIグループ(2.59%増)であった。

図表1. 預かり残高推移と11月月間ランキング



(単位: 百万円、%)						
預かり残高 順位	社名	2017年10月	2017年11月	増減額	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	196,436	201,524	5,088	2.59	2
2	GMOクリック証券	142,419	143,596	1,177	0.83	6
3	外為どっとコム	115,751	116,773	1,022	0.88	5
4	DMM.com証券	115,808	115,893	85	0.07	8
5	ワイジェイFX	99,216	99,995	779	0.79	7
6	セントラル短資FX	62,051	62,645	594	0.96	4
7	マネーパートナーズ	63,512	61,675	▲1,837	▲2.89	
8	ヒロセ通商	44,417	46,756	2,339	5.27	1
9	FXプライムbyGMO	17,027	17,358	331	1.94	3
10	トレイダーズ証券	12,488	12,431	▲57	▲0.46	
11	上田ハロー	11,052	11,024	▲28	▲0.25	
	その他(2社)	12,050	11,863	▲187	▲1.55	
	合計	892,227	901,533	9,306	1.04	

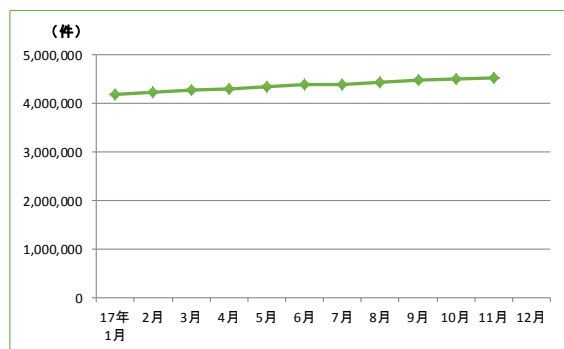
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【口座数】

●企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で63.3万口座、第2位のGMOクリック証券は51.1万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(100.5万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(68.8万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はSBIグループ(1.22%増)。次いでヒロセ通商(0.88%増)であった。

図表2. 口座数推移と11月月間ランキング



(単位: 件、%)						
口座数 順位	社名	2017年10月	2017年11月	増減数	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	993,699	1,005,793	12,094	1.22	1
2	DMM.com証券	628,648	633,236	4,588	0.73	4
3	GMOクリック証券	507,426	511,512	4,086	0.81	3
4	外為どっとコム	443,485	445,917	2,432	0.55	5
5	ワイジェイFX	324,410	325,702	1,292	0.40	6
6	マネーパートナーズ	307,465	308,647	1,182	0.38	7
7	トレイダーズ証券	299,918	300,996	1,078	0.36	8
8	マネックス証券	242,150	242,924	774	0.32	10
9	ヒロセ通商	215,591	217,491	1,900	0.88	2
10	FXプライムbyGMO	176,187	176,775	588	0.33	9
11	セントラル短資FX	168,543	168,896	353	0.21	11
12	上田ハロー	53,057	53,050	▲7	▲0.01	
	その他(2社)	136,514	137,594	1,080	0.79	
	合計	4,497,093	4,528,533	31,440	0.70	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

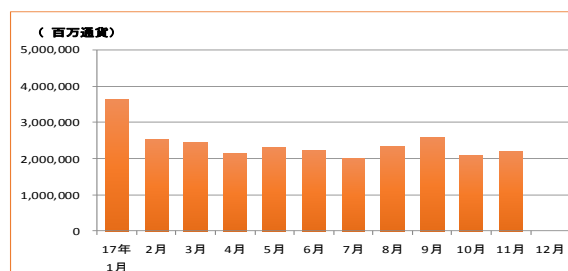
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

【取引高】

●月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で66.1兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で60.4兆円(同)であった。

図表3. 月間取引高推移と11月月間ランキング



(単位: 百万通貨、%)						
取引高 順位	社名	2017年10月	2017年11月	増減額	前月比	増加率 順位
1	GMOクリック証券	638,066	661,569	23,503	3.68	7
2	DMM.com証券	557,673	604,745	47,072	8.44	4
3	ワイジェイFX	224,537	237,866	13,329	5.94	6
4	ヒロセ通商	208,386	227,363	18,977	9.11	3
5	外為どっとコム	188,115	192,402	4,287	2.28	8
6	マネーパートナーズ	115,410	122,896	7,486	6.49	5
7	FXプライムbyGMO	41,048	56,861	15,813	38.52	1
8	マネックス証券	24,164	29,175	5,011	20.74	2
	その他(4社)	75,035	69,508	▲5,527	▲7.37	
	合計	2,072,434	2,202,385	129,951	6.27	

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はワイドレールを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ